

花見山+霞ヶ城+智恵子記念館 2014年4月13日 リーダー:市川 克也



霞ヶ城にて↑

遊友 欲ばり旅 リーダー:市川 克也

天気は快晴に恵まれ、花見山の花々も見事に咲き誇った最高のバスハイクになりました。これも皆さんの日頃の行いが良かったのと伊藤会長がベストなタイミングを考えて日程を組んでくれたおかげです。

また、今回はミステリーツアーの

要素もあり、当日の出発までどこに行くかは明かされていませんでした。花見山の後は、伊藤会長のお勧めの霞ヶ城と高村智恵子記念館（生家）にも行った欲ばり旅でもありました。今回、自分はリーダーとしてデビューしましたが、反省も含めてそれぞれを振り返って見たいと思います。まず、花見山では引率の難しさを実感しました。時間が1時間強と限られた中で、トイレのタイミング、休憩を切り上げて再出発するタイミング、バラバラになりがちな集団をまとめて指示を出すリーダーシップなど、反省すべき点がいくつかありました。今後に活かしたい苦い経験でした。

霞ヶ城は山の上に石垣があり、そこで昼食を摂って目の前に広がる雪の残った安達太良山と「本当の青い空」は、感動に値するものでした。また地元の太鼓団の方々に伊藤会長が声



←初リーダーの市川さんとよくリーダーをフォローしてくれた松浦さん。
満開の桜をバックに。花見山にて↑

をかけ、演奏してくれたのは嬉しかったですね。

智恵子の生家へ向かう途中で地元の酒屋に寄り、洞爺湖サミットで出された一本 26,000 円の日本酒を見せて頂いたときは、驚きました。「世の中にこんな高い酒があるものか」と。智恵子記念館は生家・作品・直筆の文章など、生で見るのと本人の人生や思いに迫る思いがしました。戸邊さんが言った「本で読むのと見るとでは全然違うなあ」という言葉が印象的でした。

今回の旅では、様々な出会いがあり、色々なことを感じました。伊藤会長が最後に言った「旅の最大の魅力は、人との交流である」という言葉は、納得させられました。地元の人々との交流とコミュニケーション、遊友の仲間とのコミュニケーションと交流、これからも大事にしていきたいですね

4月山行花見山に参加して/戸邊茂雄

花見山は、ウメ、ハナモモ、数種類のサクラ、レンギョウ、ボケ、サンシュユ、モクレンなどの花々が一緒に咲き誇る花の名所で、その美しさは写真家の故秋山庄太郎氏に「桃源郷」とまで言わしめたほどです。花木生産農家の方が自らの農地を長い歳月をかけて開墾し、昭和34年に「花見山公園」として広く一般に開放されるようになりました。

朝5:45にせんげん台で8名、6:00に春日部で16名の合計24名の参加で出発しました。今回は往復の距離が500kmを超えるのでドライバーは二人です。山口さんと生井さんです。6:30に久喜ICから高速に入り東北自動車道を直走します。バスの中では先月の山行「ミツバ岳」のDVDを見たり、「ふるさと福島クイズ」や伊藤会長による福島についての歴史等の説明を聞いたりして福島についての知識を深めました。およそ3時間高速を走り、9:20に福島西ICから高速を降り、9:50に目的地の花見山に到着。予定よりも30分以上早い到着でした。

↓花見山山頂付近から撮影



↑花見山、様々な花が満開。

今回は登山ではなくので準備体操もなく、直ぐにハイキング開始です。花は丁度見頃を迎えていたので観光客で一杯です。会の旗を頼りに迷子にならないように気を付けながら、写真を撮りつつ歩きました。



↑霞ヶ城にて

桜、梅、桃、黄色い色のレンギョウとサンシュユ、白いモクレン、赤いボケなど色とりどりの花が一斉に咲き誇っていました。そして花の先には雪を被った山々が見えて最高のお花見でした。11:10まで花見山でのお花見をした後は、またバスに乗り二本松駅に向かい11:55に到着しました。ここから歩いて昼食場所の二本松城(霞ヶ城)に向かいました。途中のコンビニでビールを買い、城の一番高い場所でシートを広げて昼食です。眼下にはお城の桜、遠くには雪が被った山々が見える最高の場所でビールと日本酒(メ張鶴)で最高の昼食です。この場所でもう少しゆっくりしていたのですが、次に高村智恵子記念館に行きました。当時の住まいや写真、絵などが展示されていました。解説ビデオも見て知識を深めることができました。

これで今回のバスハイキングは終了して、後は帰るだけです。高速に乗る前に酒屋に立ち寄り、15:50に二本松ICから高速に入り、春日部に向かいました。途中の羽生PAで最後のトイレ休憩をとりましたが、私は「鬼平江戸処」として新しくオープンしてから初めて立ち寄りしました。帰りの道路もことのほか順調に流れて無事春日部に到着し、せんげん台には20:00到着です。せんげん台組は、いつもの中華食堂で恒例の反省会を行って21:00丁度の帰宅でした。

今回は、桜の開花時期、天候ともに恵まれて最高のお花見ハイキングとなりました。お骨折りくださったリーダーの市川さん、ガイド役を務めてくださった伊藤会長、会計の鈴木さんと杉崎さん(旦那さん)はじめ皆様ありがとうございました。

今回は、桜の開花時期、天候ともに恵まれて最高のお花見ハイキングとなりました。お骨折りくださったリーダーの市川さん、ガイド役を務めてくださった伊藤会長、会計の鈴木さんと杉崎さん(旦那さん)はじめ皆様ありがとうございました。



↑戸邊さん、安達太良山を背景に。



↑石臼を操作する松沢さん。(智恵子記念館)

2014年5月山行の案内

飯士山

シャクナゲ、イワウチワ、ショウジョウバカマなどの花が見頃を迎えます。

飯士山は、新潟県南魚沼市にある標高 1,111m。その山容から別名「上田富士」とも呼ばれています。山中に食物を司る神仏が祀ってあると言い伝えがあり「飯士」の名の由来とされています。

春には、いわうちわの群落・シャクナゲの花(5月頃が見ごろ)の他、たくさんの花を見ることができます。山頂からの眺望は大変良く、天気に恵まれれば谷川連峰、苗場山、越後三山などを望むことができます。

【日時】5月11日(日)

【集合】せんげん台 5時45分 春日部 6時00分

【持ち物】昼食、入浴セット、雨具、軽アイゼン等

【入浴】湯沢温泉近辺立ち寄り湯予定

【申込み】5/4 締切ました(参加者 27名)

飯士山→

